

神様にお願いするので、参拝するときはお清めをしてからお願いします。

まず、服装を正して下さい。お願いをするにあたり、最低限の礼儀となります。手水舎で心身を清めます。

両手を清め口をすすぐことにより、心と身体を祓い清めるという意味があります。

きれいな心と身体で神様にお参りをする為の準備です。

#### ・作法

①右手にひしゃくを持ち水を汲み、左手にかけて左手を清めます。

②次にひしゃくを左手に持ち替え、右手を清めます。

③残した水を左の手のひらに受け、口にふくんで清めます。

※ひしゃくに直接口を付ける方を見かけますが、間違いです。(衛生上もよくありませんね)

④口をすすぎ終わったら、もう一度水を左手にかけます。

⑤ひしゃくを水で洗い流します。

⑥ひしゃくを元のところに置き、お清めは完了です。

自身の身を清めているという自覚を持って行って下さい。

神様からの神気をいただく為の儀式とお考え下さい。参拝の仕方（拝み方）

手水舎で身を清めた後は、神様に拝みます。

#### ・作法

①神前にてまず軽く一礼したら、お賽銭（さいせん）を入れます。

（お賽銭は静かに入れます、力一杯投げつけたりしない様に）

②鈴を力強く鳴らしましょう。（神様に自分が来たことを知らせ魔を払います）

③二礼（深く腰を折り、腕は身体の横にまっすぐつけておじぎします）

④二拍手（二度かしわでを打ちます）

（右手を少しずらして、左手の親指の付根の部分と右手の手のひらのへこんだ部分が合わさるぐらいのイメージでいい音で神様に合図します。

清い気持ちで参拝していることを証明するのです）

⑤ここでお願いごとをします（両手を合わせて祈念）

⑥一礼をします（再び深くお辞儀します）

一礼→お賽銭→鈴鳴→二拝二拍手一拝（二礼二拍手一礼）と覚えてください

もっと丁寧な作法や場所によって異なることもありますが、基本的にはこの参拝の仕方を覚えておけば、神様も気持ちよくお願いごとを叶えてくださるでしょう。神様に頼み事をするわけですから、礼節を尽くすというのが筋です。

神様にお願いごとをするには、敬意を払い正しい作法で行います。